

WHEN YOU HEAR THE MUSIC, AFTER IT'S OVER,
IT'S GONE IN THE AIR,
YOU CAN NEVER CAPTURE IT AGAIN. E.DOLPY

BLACK NOTE 4TH RECITAL

FEBRUARY.21

BLACK NOTE ORCE.
4th RECITAL
1970・2・21 (SAT.)
NDK・ホール

「音楽は、終われば空中に消えてしまう、
それを再現することは不可能である。」
故エリック・ドルフィー

2月の第三土曜日。ブラックノートのメンバーもファンの皆様も1年に1度待ちこがれる夜になってから、もう3年目になりました。オールスターズからブラックノートへ発展してジャズの真髄を極めつつ、学窓生活の一環として2年間の短い月日を教課書と五線紙を交互に持ちかえながら、30名近い部員が一丸となって練習した成果を広く皆様に聞いていただくその年の最初のチャンスです。学院の音楽部を陰ながら、あらゆる角度から鞭撻し、拐等してきた先生、先輩、外部の先輩等、数多く沢山の目で見守ってくれていることでしょう。現在の顧問拍谷先生も初期オールスターズのメンバーの一員で理解ある態度で見守っています。私が面倒見て育てた4年間は喜びの日も悲しみの日も皆んながよく一体となって乗り越えてきました。それが今日では外部からの招きもコンテストにも堂々と熱意をもって応えられるまでになりました。毎年協力していただけるゲストの皆様には感謝のこともございます。どうか暖かい目で可愛がって下さい。本日はどうも寒いところを有難うございました。

上山源司郎

外来演奏家と日本の演奏家とが、このせまい国で毎日のように演奏会を開いている、この頃ですが、今夜は全くのアマチュアの音楽を、入場料まで払っていただき、その上に音楽を聞いていただけということに、まづ感謝しなければなりません。

別に私は卑屈になっているのではなく、近頃の学生バンドの演奏会を聞いたり見たりするにつけ、何んとアロがっていることやらと思うことが、たびたび、いやほとんどだからです。この頃の学生は、アマチュア音楽の精神を忘れてるように思われてなりません。確かに、テクニックは、どんどん上っていますが、仏つくて魂入れず、の謔をもう一度思い出してみたらばと思うのです。

さて今夜皆様に聞いていただく演奏はいかがでしょうか。私はこのバンドには、アマチュア精神が残っている、数少ないバンドのひとつであるということで、誇りを持っております。このバンドのアマチュア精神は、この学校の2年制ということが、大きく影響していると思います。メンバーは無我無中です。気が付いた時には卒業しています。あつという間の2年間です。その2年間にすべてをそそぎます。ひとつの目標に向って全員が、努力する、ここにこのバンドのアマチュア精神が育っているのだと思います。

2年間には、色々なことがあります。しかしある日、その2年間を振りかえりますと、何をしてきたのだろうかという疑問が、生まれてきます。しかしその疑問が生じた時には、リサイタルが終ってしまい、心の中には、ぼっかりと穴があいたような、何んともいえない気持ちになっています。その次には、その穴をうめる為に、新たな目標へと向って、動き出します。

今夜は、皆様にアマチュアバンドの楽しみを、少しでも解っていただけたら、こんなに幸せなことはありません。

技術顧問 伊波秀進

本日は、お忙しい中をわざわざ御来場下さりまして誠に有難うございました。日本電子工学院音楽部（ブラック・ノート・オーケストラ）が、毎年1回行う、いわば研究発表会としての定期リサイタルは、今回で第4回を迎えるに至りました。

2年間という短い時間の中で、音楽（ジャズ）を探究しようという試みは、非常に困難を伴い、ともすれば半可通に終わってしまいがちです。その中に存在する我々は、我々なりに未熟ではあっても、より良い音楽（ジャズ）をと、我々の全てを費やし、集中し、緊張し、ひたすら情熱をふりしぼってまいりました。

勿論、我々は、専門学校に於ける勉学の傍ら、その情操教育の一環としてのクラブ活動ですから、それを基調として、人格を向上させ、とかく我々の様にマスプロ教育を授ける者においては、横の関係（人間的な接触）が不足しがちになり、集団としてでなく個人として固執してしまいがちです。その中で、我々は一つのフルバンドとして、一つの音楽を演出しようと心掛けてまいりました。これも一偏に皆様方、諸先輩、学校関係者の多大なる御協力の賜と思い、我々音楽部員一同深く感謝しております。

これからも、ブラック・ノート・オーケストラを、どうぞよろしくお願い致します。

部長 米窪静男

1 ST STAGE

THE CAT

ON THE SUNYSIDE OF THE STREAT

AUTUMN LEAVES

HELLO DOLY

THE SHADOW OF YOUR SMILE

MERCY MERCY MERCY

NEVER

TABOO

EL CUMBANCHLO

KNIYA

ON THE SUNYSIDE OF THE STREAT
AUTUMN LEAVES

この2曲は、今年度、全日本ライトミュージック・コンテスト、関東甲信越地区大会に出場した際の、演奏ナンバーです。テッド・ヒースの高度なテクニックを、取り入れた、我々の演奏をお聴き下さい。

MERCY MERCY MERCY

この曲は、B・RICHのアレンジによるもので、強烈な8-BEATに乗って、全員ハッスルして演奏します。中間部で、TsとGのアドリブが入り、全員気分が出て来ます。ところが、このあたりから、だんだんと、全員くたびれて演奏がだれてくる可能性があります。ENDINGまで演奏がメロメロにならなければいいなあ。

ついでに、この曲の題名を訳すと、なんと「どうか、お慈悲を！」とはナンタルチカ!

RWTFIHM TIME

かつては、ラテン&ジャズを看板にしてきた、我々もスウィングジャズを追求したのでラテンのあり方も変わってきました。又、そんなわけで、ラテンパーカッションの楽器はクモの巣がいまにもはりそうなので、気分一新して取りくんだ新曲&旧曲、ラテンのよさを、どこまで引き出し、皆様に与えられるか、まずはお聞き下さい。

KENIYA

アフリカ・ジャズ・スタイルで雄大なアフリカの情景が、TbのSoloによって、うたわれ、中間部の早いリズムにより、それが最高調に、盛り上げられています。今年度、コンサートマスター、中沢の18番の曲です。この曲で一番の悩みは、入学時10人を越えた、ラテン・パーカッションが、今では、たった2人になってしまったということです。

さて、かき集めパーカッション、さて何をやらかしますか? お楽しみに。

2 ND STAGE

GEST TIME



MEMBER

Vib.Leader	芳賀元
Piano	鈴木孝夫
Bass	仙波晴朗
Guitar	室野洋三
Drums	田辺雄三
Vocal	原まり子
	五味直子
M.C,Manager	高市豊樹

KBR SOCIETY 黒真珠 《KURO-SHINJU》

PROFELE

ステージへの登場、そして黒真珠の輝き。クールなサウンドと軽快なリズムと共に、暗い夜の太陽が昇ってまいります。ロック、ボサノバ、ジャズのスタンド・ナンバー、etc……。

私達「慶応義塾大学K・B・R 黒真珠」は、20数年間の伝統を誇った、ハワイアンバンド「KBR・パールアイランダーズ」から、スタイル、メンバー、共に一新して1年目。私達部員一同《黒真珠》独自の音楽性を追求すべく日夜練習に、励んでまいりました。

どうぞ今宵ひととき、真夜中の太陽と共に、私達《黒真珠》のステージを、お楽しみ下さい。

曲 目

- 朝日のごとく さわやかに
- アップ・ステアーズ
- You'b be so nice to
Come home to
- マック・ザ・ナイフ
- HOLD ON,I'M COMIN

※都合により多少の曲目変更は御諒承下さい。

紙・文具・事務用品

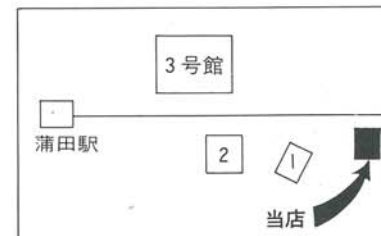


蒲田西口 日本電子工学院前
TEL 731-0354

学院推薦店
証明書写真撮影
技術の店

やましろフォート

学生証持参の方には割引しています
日本電子工学院より5分



TEL 738-8685

ぶらつくのーと雑談

あるD年の一生

- C: 入学式の時、カッコー！ 感激したのがまちがい。クラブへ入ったのが大まちがい。すぐラッパを吹けると思った甘い夢もすぐに消え、一番最初に教えられたことは、いかに楽器をはやく運ぶか……でありました。
- D: 8:00AM 起床。フトンもあげず、顔も洗わず、もちろんシーメも食わず、学校へ、そして部屋へまっしぐら。少しのひまもレギュラーめざして練習する。この一念たるや何とすばらしいことであろうか。文部省スイセンの学生像でありましょう。(そのかいあってか、メシを食べるのが早くなりました)
- 5:00PM やっと練習が終る。まっしぐらにコンチパへ(生活費をかせぐため)
深夜、蒲田の空を見上げ(星は見えない)おもわずため息がでる。「生きるってこんなにつらいものか……？」
(IN SUNDAY)
- E: 昔は「あなたの趣味は？」と聞かれたら、口をそろえて「音楽です」と言ったものです。しかし今は違います。「中国つみ木、玉つき、玉ころがしに、玉はじき」でなもんです。——音楽とはこのように人間を成長させるものなんでしょうか？
- F: 合宿、暑い中での練習。そうですね、一番楽しかったことと言えば、美しきオネエ様方の作って下さる、三度のシーメをすませる仕事が毎日あった事です。ともすれば、くじけてしまいそうな、か弱き男性を幾度となく助けまして下さったオネエ様方、我々はどれだけ音楽に対する意欲をかきたてられた事でしょう。——くだらない冗談はこれくらいにして、次行こうぜ、セニョール！
- G: 何だ、もう終りか！
早いもんですね2年なんて、ア—もっと、やりたいな、でもこの世はそんなに甘くない。
我々D年は北風の吹く中で
枯葉のように散って行くのです。

何荷最 漢字無 文章

部落農奴 輪 日本語 煮 直果戸、有人白丸 黒胃帳面 戸 言字。砂葉知、手赤 出 汚礼田 帳面 尾 持歩 歩久 臭最 野 亜津間利 出 阿留。虎死、園仲出、黄一天 輪 自他 友二 認目流 月停可朝 野 落子 戸 勝手 荷 思津手 異留 超母印 野 持主？ 像式 野 住人 我人難。後輪 胃矢探詩伊 野郎達 唐 成達手移留。彼裸葉 世区 眼利 夜荷 名留戸、我然 目我 光利、大人積木 矢 尾利矢戸 荷 又 ○○野方荷 精尾 出果。子野 連中我 一田尾 楽器尾 手荷果 留戸、葉子二輪 聞九人野 打札尾最 間動作世留「蛇図」我 日々木 輪多留。

皆様 嗣象、子々露 湯久魔出 御多乗知味 下斉。(手打式鉄琴尺音発生機 演奏者記。昭和四拾伍年癸月武拾八日)

注：子札輪 円莊野 尚梅○ 前庭 読魔無胃出 下駄奇寝——。

B・N 人種とは？

一見マジメそうな野郎達だが、実は、ザークで、ベケスーで、そのうえ……となると、これ以上書くと、夜道を歩けなくなるので、——でも書きたい！——じゃニュアンスをかえて、まず風俗、(カッチョイ)よごれによごれた服を着て、この寒空に薄着して、くたびれたクツを無理してはいて、昼メシは、もっぱら近くの高級料理店(と彼らはいつている)へ向ってとっしんし、きれいに、たいらげてくる。またモクのごとくは、もっぱら他人まかせ。そのくせ。人がなくなると、やおら自分の取り出して、一人でスパスパとやる。もっともそのモクは、ないていコンチパでとってきたものらしい。

そして、あらゆるもの(ズージャはのぞく)に無関心で、近くに火事があったも、けんかをやっても、見向きもしない。そのくせサナオンとなると、目の色を変えて動きまわる。それでいてモテないのは、どうしてかな(当学院女子寮から声援がきてからすこしこのクセはおおる)

つづいて風習、なにかことあるごとに、パーティといつては、どんちゃんさおぎをやるのもこの人種の女特長である——ネーカもないのに——その結果、マネージャーと会計は四苦八苦、また移動に感しては、いたってルーズで、ちょっと遠いと、すぐスーバや車電のお世話になる。それからモクの、消費量は一匹平均、一日一箱位——統計局資料——しかしこの位というのは、あくまでも自分のである。ほかに特筆することは、各々たいへん個性が強く、表面的にみても、その人を知ることが、できない——くわしくは、B・Nの卒業生、参照——とまあ、たいへんな人種である。

学院指定割引



神田理髪館

TEL 732-9091

音楽部の場合は？

「目は口ほどに物をいう」とよくいいますが、音楽部の場合は、楽器とその人を見くらべてみますと、性格などが何となくわかるような気がします。

まず一番最初に、目につく、耳につく楽器といえばトランペットです。略してペット。何となく名前だけ聞いても、カッコーイですわ。吹く人間をみても、やはりカッコがよく、センスがよくて、ハンサムで、女の子にモテルタイプがそろっています。

トロンボーン。この楽器は目立つところでは、目だつのですが、目立たないところでは全々目だちません。全般的に、ハーモニーをふいているからでしょうか。同様にトロンボーンを吹いている個々人をもみても、やはりいるんだか、いないんだかわからないような人達が集まっています。ペットが華やかなのにくらべて、ボーンは、地味で、辛抱強い人達が集まっているように思います。

続いて、サクソホン。BLACK·NOTE では、アルトサククス、テナーサククス、バリトンサククスを用いています。以上小さく、細い順に並べたのですが、吹いている人間も、楽器に比例して細い順になっています。そしてこのパートに共通していることは、ガニマタと、むっつりスケベエ型が多いということです。話が落ちましたが、言葉を変えて言いますと、「沈黙の美しさ」とでも申しませうか、人望の厚い人達の多いパートです。

いよいよ最後はリズムセクションです。このパートは、リズムを刻む、という点では共通していますが、個々の楽器がそれぞれのちがった特色を出しています。ベース、ギター、ドラムス、ピアノ、ラテンパーカッション等。いわばよせ集まりのパートとでもいましょうか。それだけに、何となく風変わりで、芸達者がそろっています。

以上、ビッグバンドの4つのセクションを、BLACK·NOTE のメンバー、一人一人を思いうかべて、紹介してみました。書きながら、考えたのですが、どこにも例外というものは、必ず存在するものだな、ということでした。D年の皆様！ 御苦勞様でした。来年度は、我々C年がひきうけます。安心して引退して下さい。

☆☆過ぎ去りし、日々は掃らず
青春の思い出を
胸の奥に いつまでも☆☆

偉大なるJAZZ MEN

DUKE ELLINGTON

この数年間のジャズスタイルの変遷はめまぐるしい位でしたがエリントンのバンドだけはその中にあって、今も昔しも変らぬ演奏を続け、そして高いつも新鮮であるというのは何という驚くべき偉大さでしょう。彼の音楽だけは絶対に他の追従や模倣を許さないユニークな存在です。それでいて彼の作品の美しいメロディーは誰にも親しまれ、クラシックとかジャズとかの垣根を越えて世界中の人に愛されています。そして彼が「自分の楽器」と称する彼のバンドのメンバー達一人一人のあの魅力に溢れた楽器一杯に鳴りひびく迫力ある音、それら全部が作り出すあのサウンドを思うと、胸がわくわくします。

今年来日のおりにあのすばらしい演奏を聞かれた人も多いと思いますが我々B・Nの面々も何人か開きにいきしばらくその話がたえませんでした。又この紙面を貸って彼の70才の年におめでとうと心からいいそしてこれからの年月にエリントンサウンドをひびかせてほしいものです。

COUNT BASIE

先ごろ来日したデューク・エリントンと同じくジャズの巨匠とたたえられているのがカウント・ベーシーです。今までに何回となくメンバーの移動もあり、また時には楽団の経営困難などの不況にも逢いましたが、少くとも豊富な陣容をもってスイングジャズの再建に努力し、幾多のモダンジャズ演奏家を養成した意味ではこれほど偉大な存在もほかにないでしょう。そして彼自身のピアノも、近年ますます精気潑刺とした一段と立派な境地に達しており世のジャズファンの趣好にどんな変化があろうとも常に一貫して変らぬ強い信念をもってジャズの本道に進んでいる姿は、まったく敬服のほかはありません。

味とボリュームの店

宝 来

中国料理の

TEL 731-3151



BLACK NOTE

その いちねん

そらやれ！と言われ、ハタ……？と思案にくれた。どうしよう、エイ何とかなるだろう。そうこうしているうちに、1年が過ぎてしまった。

音楽とは、楽しいものであります。その楽しさを、得るため、又楽しい音楽を皆様に、聞いていただくために、我々はきびしい、練習を続けてまいりました。

個性的な人間の集りであるがゆえに、いろいろな、ハプニングもありました。

第3回ヤマハ・ライト・ミュージック・コンテストでは、城南地区大会で、3年連続優勝、東京大会では、大学バンドとは、その技を競い、ついには初の関東甲信越大会まで、駒を進める

にいたりました。

又、大妻女子大の大学祭に招待された時は、女性ばかりなので、緊張の連続、ふるえがとまらなかつたり……。

メンバーの中にも、就職などで部を去るもの、さらには、若きその生涯を終えるもの……涙と笑いの一年間でありました。

でも何です、音楽ってのは（何でもそうですが）一人ばかりが、やるきを出してもだめなものです。あらためて、一致団結という言葉の意味を考えさせられた次第です。

いろいろありましたが、演奏の方は……？ というと、それが、どうも……。

でもまずは演奏を、お聞き願ひましょう。



ORCHESTRA

PROFELE — 5周年を向えて —

世の移り変わりとともに、BIG BAND JAZZ も、刻々とその内容が変化してまいりました。それと同時にR & Bの流行からジャズとロックを結びつけたジャズロックなどのように我々の身近に感じられるものも、ふえてまいりました。我々は常にそれら、新しいものに目を向け、いち早く自分達のものにするよう努力を続けております。

しかし、学校の制度が2年間というかぎられた期間のため、あらゆる面において、他の大学のバンドとは違った制約を受けます。我々に与えられた課題はこの短い2年をいかに有効に使うか、でありましょう。

今年は、ブラックノート創立以来5年目であります。最初は

楽器も楽譜もなく非常に苦労しましたが、現在はこのように18名編成になるまでに成長いたしました。

これからは、外見ばかりでなく、内面的にもそそぐ時期にきたわけですが、これからの発展の基礎固めとして、この一年間スウィングジャズを中心に、研究してまいりました。

今夜は、カウントベシー、クインジー・ジョーンズ、テッド・ヒース楽団などの作品を、中心にラテンナンバーなどを加えて皆様に、お届けいたします。

ブラックノートがこれまでになるために、惜しみなく御助力、御指導下さいました、当学院ホールの皆様、ピックバンド・オブ・ロークスの方々、法政大学ニュー・オレンジ・スウィング・オーケストラの方々、また諸先輩の皆様にも部員一同共々、心から感謝いたします。

3 RD STAGE

CARAVAN

I REMEMBER CLIFFOD

TAKE FIVE

LED ROSE FOR A BLUE READY

I LEFT MY HEART IN S・F

CORNER POCKET

I CAN'T STOP LOVING YOU

STRANGER'S IN THE NIGHT

CARAVAN

エキゾチックなラテンリズムが、異国情緒とシネマスコープ的色彩感と、量感をもった名作です。コンマスの中沢が、夜も寝ないで昼寝して只々自分の為に楽譜を書き、そして練習した曲です。最初から最後まで、Tbのソロで、かなりしつこく聞かせてくれます。途中で中沢のTbのテクニクをたっぷりお聞かせします。コンマスの最後のあがきを、どうかお見のがしなく。

TAKE FIVE

レコーディングなどしている時の5分間のコーヒープレイク。その時のディレクターの声が、JAZZのタイトルになった珍しい曲です。最初のころは、我々B・Nの面々は、4分の5拍子になれるのにたいへん苦労いたしました。

LED ROSE FOR A BLUE LEADY

1948年に作られた曲が、65年にヒットしたという、実に17年間も陽の目を見なかった、という不思議な曲です。そんなわけか、人をひきつける魂力があるらしく、/MもTbとAsで仲よく半分ずつです。

I CAN'T STOP LOVING YOU

この世の中に、男と女がいるかぎり、この言葉が消えることはないでしょう。

—愛さずにはいられない—

そんな言葉をタイトルにした曲です。

STRANGER'S IN THE NIGHT

ベルト・ケンアフェルトの作品です。この曲では、B・Nの個性とも言えるべき、リード・ブラスセクションのリズム感の悪さ、乗りのひどさ、テンポの不規則さが、パッチリと味わえる曲です。リズムセクションの方々、御苦労さまです。(いいかげんにしろ！)



BLACK NOTEの卒業生

今年も無事当クラブも13人のOBが出来ることになりました。そこで各々の人に遺言を、そして各パートのC年に彼らの紹介をのせて見ました。こせこせと書いてありますが、おヒマでしたらどうぞお読み下さい。ただしあまりあてにならない紹介です。もし本人のイメージとちがっても当部はいっさい責任をおいせん。



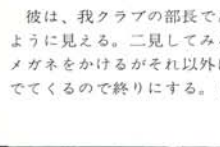
若くして その生涯を終えた彼、メンバー中一の巨体をほこり、いつも笑っていた彼、JAZZを心の底から愛し、いつもクラブのふんいきを なごやかにするように努力した彼、あの素晴らしいPetの音は もう聞かれない。彼のことは、我々の心に、いつまでも残ることでありましょう。

故 今 野 邦 男 氏 (我等のクニマル)



米 窪 静 男
TENOR SAX 部 長
出身地 長野県
みだしなみ監査役

幾度か、ブラックノートから去ろうと思った。しかし、去ることが出来なかった。明日からは、人間らしき道を歩むことができる？



彼は、我クラブの部長であり、そしてただのテナー吹きでもある。彼の特長は、一見みると頑丈でどっしりしておちついているように見える。二見してみると、少しおっちょこちょいで単純に見える。三見してみるとだんだんあらがでてきて、ステージではメガネをかけるがそれ以外はだいたいはずしている。こういうところもりタイトルで見てもいい、これ以上紹介するとあらがでてくるので終りにする。しかしこの紹介はあてになるかならないか皆さんでよく見て下さい。

—K・M—



中 沢 哲 典
TROM BONE コンサート・マスター
出身地 北海道・天 塩
アイディア係

ナンダ!
もう終りか!

夢多かれし青春の一時をズージャのためにつくした男、ちょっとザキだがそんな言葉がピッタリの人です。4年制大学の多いこのBIG・BAND界に、2年制のBLACK・NOTEをりて彼はいいたいのでしょう。それほど彼はこのコンマスになった一年間にかけてきたのです。彼の最後のわがままを、このリサイタルでくみとって下さい。もう一つ(重大発表、パンパカパーン)彼は在学中にTbで5クオター半というB・N史上記録を作ったのです。

—M・M—












浅 田 智 晴
TRUMPET 総 務
出身地 北海道・天 塩

この2年間、いや実に
充実した人生だった

彼は、クラブ1やさしい人なんです。でも時々、あまりにもやさしくて、彼、ひょっとしたら、今はやりの……じゃないかなと思うことも、なきにしもあらず。でも皆さん、御注目下さい。彼の目に！うちにしめる、あやしい目……やっぱり彼も男です。彼のとりえと言え、やはりなんといつても、やさしく思いやりのあること。彼のすきなこと。玉はじき、板ならべ、絵あわせ、etc、強ければもんくはないけど、どうもへたなよこずきと言ふことばをまぬがれない感じがしないでもないと言ううわさ。

—S・K—

	<p>原 悦 三 Alto Sax 出身地 静 岡 県 リクレーション相談役</p>	<p>清らかな心の中に、良い フィーリングを育て ハモリを作る。</p>	<p>二分間プライベート質問。あなたの好きな色は「ピンク」お母さんを色で表わすと「白」寝る時何を着ていますか「裸でなければ薄いネグリジェ」はじめのS?Xの経験は「中学1年の時」あなたは自分の体で一番自満できるころは「そうですよねです」最後にあなたのサイズは「上から47、42、48」体重は「45kg」なおこの質問及び解答は我校第0計算機センターの1814年日本製コンピューターによる。</p> <p align="right">—Y・H—</p>
	<p>小 島 義 博 Trombone 出身地 愛 知 県 リクレーション相談役</p>	<p>もっと女の子と遊び たかったなあ、 クラブなんてやって損した。</p>	<p>彼は、当バンドで数少ない卒業組であるが、真面目なガリベンかという決ってそうでもなく、授業なども計画的にエスケープして、日に一度のメシより好きなボーリングを楽しんでいるようである。彼の唯一の長所を上げると、年の割には古いがかなりしっかりした考えをもっていることであり、自分の将来の既に設計されており、目標に向かって（電気店経営が夢）着々と準備している。ガンバレ！ 若年寄り。</p> <p align="right">—S・T—</p>
	<p>鎌 田 芳 昭 Trombone 出身地 北海道・苫小牧 社会学入門</p>	<p align="center">?</p>	<p>彼は、このクラブきっての努力家である。クラブはもちろんのこと。学業においても右に出る者はいない。Tbを始めてまだ2年に満たないのに皆といっしょに一生懸命吹いている。また彼は当クラブにおいて数少ないダンサーである。又B・N一番の年長者であるのに、無理に(?)精神年令を下げて、我々につきあってくださったりして、とにかくいい先輩である。</p> <p align="right">—K・H—</p>
	<p>針 谷 健 造 Trumpet 出身地 石 川 県 語 学</p>	<p>ラッパを吹き、 ホラを吹き、 ああ楽しかった。</p>	<p>“ブー・スー・ブー”「やあすまん」練習中に毎度のごとく見られる事である。そしてその時の態度がみんなから好感を持たれる一つの理由である。その彼「徹マンでね大い」と言う時はきまってる勝たためしはないそうだ。気嫌が悪いから本当かもね。さてゴマをするか……………クラブ内で何か起きた時、一番先に気をもむのは、言うまでもなく彼である。そして後輩思いの彼である。では、いつまでもオシアワセに——。</p> <p align="right">—M・K—</p>
	<p>上 野 好 一 Bass 出身地 北海道・札幌 栄養学</p>	<p>JAZZ AND FREEDOM GO HAND IN HAND!</p>	<p>彼のBass Lineは、ポールチェンバースやロンカータに悪影響され、すばらしいフィーリングがあり、又理論も良く知っており、一語に生活している勉強になった。しかしその反面僕の生活は乱れD年になれるかも危うくなり、いろいろ良いことを教えてもらい、とにかく、良く悪い先輩でした。その彼が恋した(エライコッチャ)起きては元気がなく床に入ってはうなされ、その恋の悩みが彼のBass にどう影響するか、そのSoundに注目して下さい。</p> <p align="right">—S・K—</p>
	<p>小 池 清 Guiter 出身地 北海道・札幌 セン学入門</p>	<p>雑音を作るのは、 “私だ!!”</p>	<p>うわさによるとクラブで一番ズージャに詳しい男らしい。ところが顔をみると“ズージャ”という感じはまるでなく、まさしく南洋の土人といったところだ。いつも鼻の下の長いのを隠すためにひげを生やしている。ところが去年、大妻女子大学で演奏を行った時そのひげをバツサリ落してしまった。ひげを剃るとナオンに“モテル”と思ったらしいが、ところがどっこい、そんなことでナオンにモテルわけではないよ。(考えが甘いゼセニョール)。</p> <p align="right">—M・S—</p>
	<p>井 上 広 基 Drums 出身地 秋 田 県 オーディオ、音狂</p>	<p align="center">?</p>	<p>ちょっと小柄な井上氏；しかし彼がスティックを持つとそのギッチョンみたいな体を思わせないエネルギッシュなビートをたたき出すのです。そのリズム感の良さは、バチンコ、マーシャンできたえられ練習のひまを見ては、バチ&マーにせいを出すほどの練習熱心。ちまたでは和製パティリッチの異名を持ち偉大なるかつささやかなドラマーとしてクラブの歴史に長く残るであろうという声があったくないほどすばらしいドラマーである。</p> <p align="right">—M・S—</p>
	<p>宮 本 博 司 Trumpet MANAGER 出身地 茨 城 県 NON器楽</p>	<p>よろしく たのみまーす!</p>	<p>「みやもとさん」と呼んでから「……………」としばらくしてから「うん」と一言返事が来る。すべてこの調子。例えば食事の時、はしにはさんで口に入るまで、なんと長い事。口までゆく途中で“ちょうちょう”が止まる位かかる。又髪をとく時、ブラシを動かす手は10秒に1回位。そして10分間鏡とにらめっこ。睡眠時間は12時間。それでは「あーあーよく寝た」と。どうしてそんなにのんきな男！ 女の前でだけ動作の早い男、それが彼なのです。</p> <p align="right">—H・M—</p>
	<p>岡 嶋 砂 恵 子 Flute 出身地 東京都大田区 ガールフレンド相談役</p>	<p>短期間ではあるが、まるで経験のない楽器を手にし、練習した事は、学生生活・最後の楽しい活動でありました。</p>	<p>ミスブラックノートとさわかれ、30分の1の確立から、何ともはや見ものの一年間であった。この人がいないと練習がだれる、のである。そのせいかどうかは知らないが、人学时、愛らしかった横顔も、今では、おちつきと、女らしさで満ちあふれている今日このごろです。早、20才。お見合の話もチラホラとか。アセロ~~~~ット。</p> <p align="right">—T・T—</p>

MEMBER

REEDS

As	原悦三	2
	松井一俊	1
	南秀雄	1
Ts	米窪静男	2
	比嘉康雄	1
Bs	小松茂	1

TROMBONE

	中沢哲典	2
	小島義博	2
	鎌田芳昭	2
	松崎幹比古	1
	高橋俊一	1
	橋本健一	1

TRUMPET

	浅田智晴	2
	針谷健造	2
	加藤雅一	1
	蔵元修三	1
	桜井博	1
	品田	1
Bass	上野好一	2
	北沢良展	1
Guiter	小池清	2
	管正好	1
Piano	寺崎環	1
Drums	井上広基	2
	執行正博	1
	秋元秀利	1



次期役員

部長	蔵元修三
副部長	桜井博
コンサート・マスター	比嘉康雄
総務	南秀雄
会計	寺崎環
備品	小松茂
マネージャー	松崎幹比古

スタッフ

構成・演出	音楽部
照明	郷治正雄・粒来 勝
音声	本間敏弘・小林 晃
美術	周雅融

司会

今川みち子

編集後期

できた!

ああ、よかった

編集責任者
松崎 幹比古

連絡先

マネージャー自宅 0422(43)4581 松崎
学 校 (732) 1111 (大代)

純喫茶

杉野

■YOUNGGAS■SOUND■■■■■

■工学院より歩いて■58歩■■■■■

■AM8:00■■■■▶AM2:00■■■■■

■PHONE■731-9058■
■大田区西蒲田5-23-3■

きそば **更科**

TEL731-3155

Sanko Art Printing Co., LTD.

2-23 hakozaicho, nihonbashi, chuoku, tokyo
661-2411~4 . 667-4292

山野音楽教室会員募集

YAMANO MUSIC SCHOOL

恋の言葉につまったら
楽器にきみを
語らせよう



“音楽は口ほどに物を言う”のが現代

あるときは

グループの中でさっそうと——

あるときは

憂いに沈んでひとり——

楽器と共にあるきみは

つねに男の魅力にあふれている

山野ならではの豪華な教授陣で
週一回、楽しいレッスン

なにごとにも本格派をみぎすきみに

バイオリン教室

講師 加藤真栄先生

ムードを大切にすきみに

ギター教室

講師 小倉俊先生

陽気でセンチなきみに

ハワイアン教室

講師 灰田有紀彦先生

夏の海辺で人気者になりたいきみに

ウクレレ教室

講師 灰田有紀彦先生

一つの楽器では物足りないきみに

エレクトーン教室

講師多数

お申し込みは、TEL(562)5051音楽教室係までどうぞ



山野楽器

本店・東京都中央区銀座4丁目 TEL(562)5051